



ふぁみりーさぽーとと泉、まってる 社会福祉法人 真愛に合流！

認可保育園ふぁみりーさぽーと のあが、昨春 社会福祉法人 真愛を立ち上げて1年。

NPO法人のふぁみりーさぽーとと泉と地域作業所まってるが、それぞれ法人を解散し、この4月1日より、社会福祉法人真愛のもとで、介護事業部門ふぁみりーさぽーとと泉、でい・さろん泉、地域活動支援センター事業部門まってる、第2まってるとして、事業を開始しました！当法人は合流のための一連の業務を支援させていただきました。

NPO法人は、社会貢献を志す有志にとって、比較的簡易な手続きで資金なしで立ち上げることができ、個人ではできない組織的な活動を永続的なものにすることが出来ます。

ふぁみりーさぽーと のあ(以下、「のあ」)、ふぁみりーさぽーとと泉(以下、「泉」)、地域作業所まってる(以下、「まってる」)、それぞれの組織のスタート段階として最善のかたちでした。

一方、長期的視野に立つ時、NPOは経営基盤を堅固にすることが難しく、そのため、事業も職員の処遇も、先行き不透明にならざるを得ない状況がありました。

そのような中、のあは、長年の誠実な働きの結果、今後のビジョンや発展性が認められて、一般的に狭い門であるにもかかわらず、昨年、社会福祉法人真愛を設立することができました。

のあ、泉、まってる、それぞれが、NPO立ち上げ以来、神の愛を礎に、子ども、高齢者、障がい者、そのご家族…必要があるところどこにでも届いていこうという熱意とまごころをもって、別団体でありながら連携して働きを進めてきました。

社会福祉法人という道が開かれた今、同じ法人の傘のもとで、今まで以上に思いを一つにして地域の福祉の向上に力強く貢献していくために、泉とまってるが、このたび真愛に合流することとなりました。

社会福祉法人はNPOと比べて、はるかに社会的な信用が厚く、税制面や補助金で有利な一方、その社会的信用に足るべく所轄庁による厳しい運営指導と基準があり、そのため事務負担や経費が増大します。

社会福祉法人真愛の運営が軌道にのり、この地域の福祉分野において、さらに大きな役割を果たしていくことができるように、当法人も引き続きサポートさせていただきたいと願っています。

こどもたちへ



ふぁみりーさぽーと
のあ



MANNA

ふぁみりーさぽーとと泉
でい・さろん泉



まってる
第2まってる



真愛のシンボル
マーク
中央に十字架を
配した
デザイン



介護事業部門

(ふぁみりーさぽーとと泉、でい・さろん泉)
部門長 福田理佳さん

今まででも支援を本当にありがとうございました。
今回、社福になったことで、1つ1つの業務にも責任の重さを一層感じるとともに、ふぁみりーさぽーとと泉、まってると連携して、地域の皆様のために応える新しい何かに挑戦していきたいと考えています。

そしてまた、この働きを担う次世代を育てる大切な時期とも感じています。
これからもどうぞよろしくお願いいたします。